

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 令和2年8月26日

【事業年度】 第60期(自 平成31年1月1日 至 令和元年12月31日)

【会社名】 浜名湖観光開発株式会社

【英訳名】

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 藤田 正治

【本店の所在の場所】 静岡県湖西市白須賀5739番地

【電話番号】 053 - 579 - 0511(代表)

【事務連絡者氏名】 代表取締役社長 藤田 正治

【最寄りの連絡場所】 静岡県湖西市白須賀5739番地

【電話番号】 053 - 579 - 0511(代表)

【事務連絡者氏名】 代表取締役社長 藤田 正治

【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。
(注) 当社では支店を設けておらず、また非上場であるため、縦覧
に供する支店、金融商品取引所等はありません。

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

令和2年3月26日に提出いたしました第60期(自平成31年1月1日至令和元年12月31日)有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

3 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(4) 経営者の視点による経営成績等の状況に関する分析・検討内容

当事業年度の経営成績等の状況に関する分析・検討内容

c 資本の財源及び資金の流動性についての分析

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

3 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(4) 経営者の視点による経営成績等の状況に関する分析・検討内容

当事業年度の経営成績等の状況に関する分析・検討内容

c 資本の財源及び資金の流動性についての分析

(訂正前)

当社の資金状況は、営業活動によるキャッシュ・フローでは前期より33,947千円少ない173,320千円となっております。

この主な内訳は、減少要因がその他流動負債17,959千円減少、売上債権の増減額3,227千円、増加要因が減価償却費の増加が7,742千円であります。

また、投資活動によるキャッシュ・フローでは前期が65,947千円の支出に対し、当期は92,753千円の支出となっております。その主な内訳は、有形固定資産の取得による支出42,882千円であります。

(訂正後)

当社は、事業運営上必要な流動性及び資金の源泉を安定的に確保することを基本方針としております。

当社の運転資金需要の主なものは、ゴルフ場コースの運営及び維持管理の伴う費用、販売費及び一般管理費等の営業費用であります。投資を目的とした資金需要は、ゴルフ場コースの造成・改修及び維持管理用資産の購入等の設備投資によるものであります。

運転資金・設備投資につきましては全て自己資金により調達しております。なお、当事業年度末における借入金等の有利子負債はなく、現金及び同等物の残高は235,824千円であります。